

ネパール王国
カトマンズーバクタプール道路拡幅計画
予備調査報告書

平成18年1月
(2006年)

独立行政法人 国際協力機構

無償資金協力部

無償
JR
06-007

ネパール王国
カトマンズーバクタプール道路拡幅計画
予備調査報告書

平成18年1月
(2006年)

独立行政法人 国際協力機構

無償資金協力部

序 文

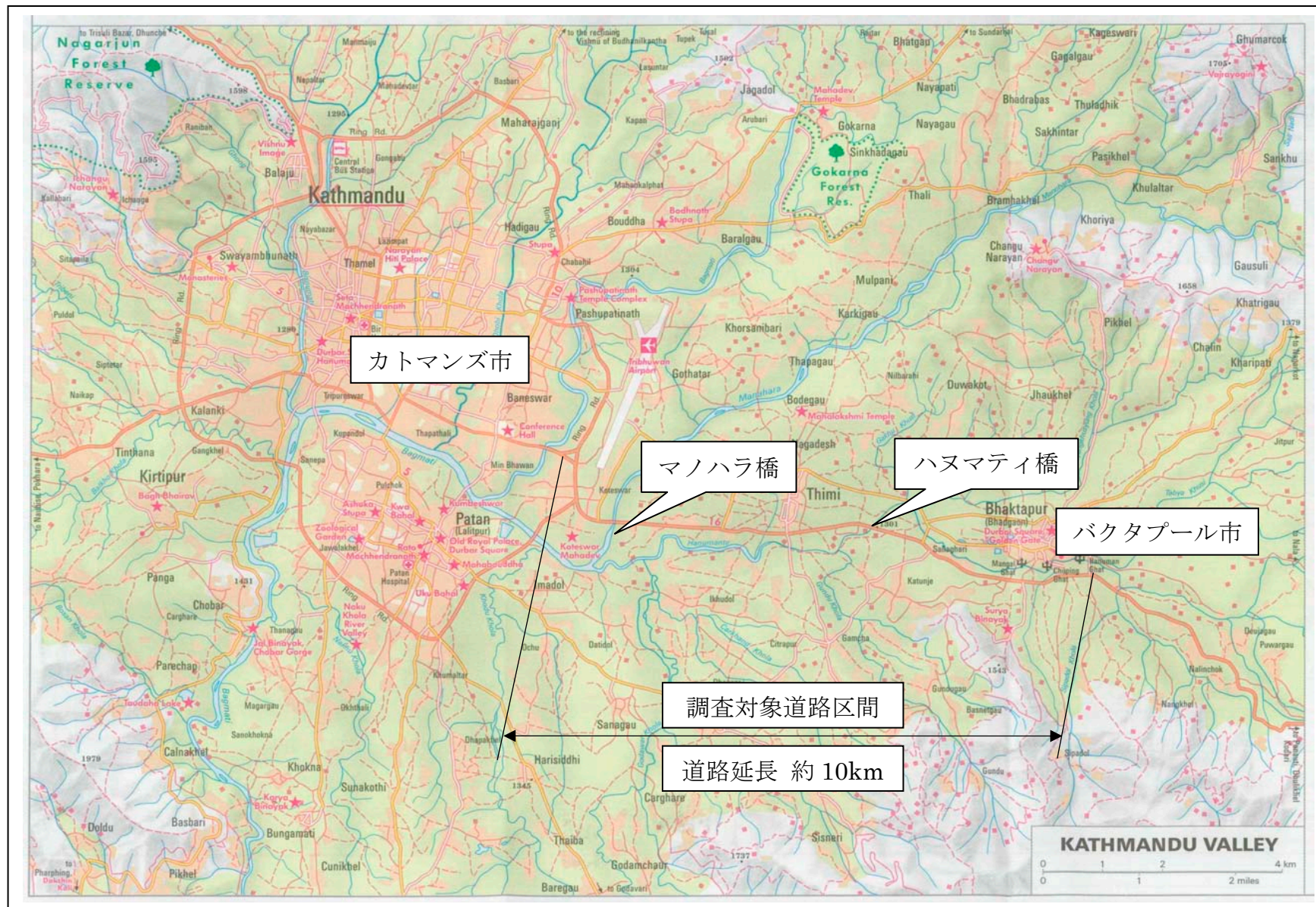
日本国政府はネパール王国政府の要請に基づき、同国のカトマンズーバクタプール道路拡幅計画に係る予備調査を行うことを決定し、独立行政法人国際協力機構は平成18年12月に予備調査団を現地に派遣しました。

この報告書が、今後予定される基本設計調査の実施、その他関係者の参考として活用されれば幸いです。

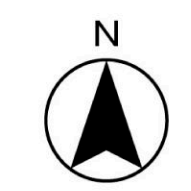
終わりに、調査にご協力とご支援をいただいた関係各位に対し、心より感謝申し上げます。

平成18年1月

独立行政法人国際協力機構
無償資金協力部長
中川 和夫



調査対象道路位置図



縮尺：1/25,000

カトマンズ市



アルニコハイウェイとリングロードが重複する渋滞区間。

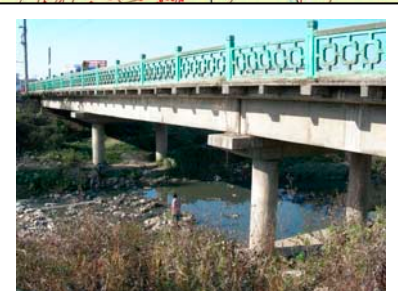
起点
(ティンクネ交差点)



下り勾配区間となっており、ジャリプティ交差点が左端に見える。



ハヌマティ橋の手前付近で、盛土区間のため、車両転落防護柵が見られる。



ハヌマティ橋、橋脚は洗掘されていない。



スルヤビナヤク交差点を過ぎると最近敷設されたばかりのしっかりした舗装が見られる。

コテスウォール交差点

ティミ市

ガタガール

マノハラ橋

ティミ交差点

ハヌマティ橋

サラガリ交差点

バクタプール市

ジャリプティ交差点

スルヤビナヤク交差点

終点
(ジャガティ交差点)



最も渋滞する交差点で、信号だけでは間に合わず交通整理が行われている。



マノハラ橋を下流側から望む。橋脚は布団かごで補強されている



サグの区間で、勾配は4%前後と思われる。遠方はすでに上り勾配が見える。



サラガリ交差点付近における島式バス停留所。



スルヤビナヤク交差点。昔はトロリーバスの折り返し地点であった。

調査対象道路区間 現場写真集